

建設 × ボクシング

異業種対談が実現

若手育成 褒めて伸ばす

時代に即した指導方法

ボクシング界と建設業。二つを比べるとまったく異種であることは明白であるが、「若手不足」という点に関しては、共通の課題と言える。ボクシング界においては、プロを目指す若者の減少、建設業では、職人の高齢化、若手入職者の減少など、若手を引き込む、そして育てていくことが重要となる。今回、課題解決に取り組む二人が対談。ボクシング界から、元WBA世界王者で、自営ジムを経営する渡嘉敷勝男氏と防雷システム設置、設計・施工を行うサンエンジニアリング(古河市)の山室和徳社長と話をうかがった。

渡嘉敷勝男氏

渡嘉敷ボクシングジム会長(中野区) 元WBA世界王者
1960年7月27日生まれの63歳。具志堅用高選手に憧れて78年にプロデビュー。81年にはWBA世界ライトフライ級チャンピオンとなる。25戦19勝(4KO)4敗2分け。引退後はタレント活動をはじめ多くのテレビに出演。近年では竹原慎二氏、畑山隆則氏とともにYoutube活動にも取り組む。

山室和徳氏

サンエンジニアリング社長(古河市) 古河市電設業協会会長
1962年5月18日生まれの61歳。国鉄(現JR東日本)の甲種電車の運転士を経験した後古河市に戻り地元企業に就職。94年にサンエンジニアリングを創業し、現在に至る。渡嘉敷会長とは、古河市内でのボクシングイベントで知り合い、以後親交を深めている。

渡嘉敷ボクシング

「ボクシング界と建設業界において、業界人口の減少が共通の課題としてあるがどう考えているか」
渡嘉敷 ボクシングでは世界で見ると実ほとんど人口が増えている。ギャラも上がり、団体も4団体になるまで盛り上がりが増している。しかし、日本で見ると、やはりブームがあり、バイオリズムのような動きがある。例えば、格闘技とよく比較されるが、格闘技が人気なときはボクシング人口が減り、格闘技の人口が増えるという傾向がある。現在は、井上尚弥選手の登場で増えてきているほか、格闘技界からも

「ボクシングはレベルが違う」と強い選手が流れてきている。格闘技は国内のもの、ボクシングは世界に団体があるため、比較するとギャラが違う。特に、ボクシングは、トップまで登り詰めることができれば、多額の賞金を得ることが出来る。ボクシングでは、ブームのバイオリズムはなく、入職者の多くは、同じ高校や専門学校・大学の先輩が入った会社だからと縦のつながりがあると感じている。ボクシングと違ってチャンピオンになれば多額の賞金ももらえるというところが、現場においても多岐にわたるもの。現場も大きいほど、現場監督として

自らも日々勉強「背中見せる」



「業界を反映させていくには必要となる。若手の力、育成にはどのように考えているか」
渡嘉敷 昔のスポーツ界は厳しく指導していた面があり、厳しくしても反発して伸びていく人が残り活躍していた。しかし今の時代でその指導方法を行ってしまうと、ダメになってしまう。ボクシングを嫌いなようになってしまっているような時代。そのため「才能を引き延ばす」ことを力をつけている。例えば、声をかけるときにしても「ここは良いね、やそこを治せばもっと良くなる」など褒めて伸ばしていく。6年前ぐらいから続けているが、本当に選手が成長する。健康管理を目的にジムに入った人に才能がある褒め続けたい」と申し出る人もいる。その選手は日本タイトル戦まで登り詰める選手となった。多くの人は褒めて伸びるもの。才能を引き延ばすことで、才能が少

ない人には多くなり、才能がある人はさらに引き延ばすことができる。それを生かして育てることで、自分も嬉しくなるし、教える側と教えられる側、双方が楽しく感じることが出来る。
山室 それは建設業もやはり同じ。私たちの場合、電気配線や、高所から落下するなど命を落とす危険があり、現場には何一つ安全はないと言える。厳しいことはもちろん言わないといけないが、現場での成長が大切。成長しつつ現場を仕上げた達成感を感じることができれば、本人のやりがいの部分に響く。ボクシングのようにチャンピオンになるという明確な目標がない分、指導するときには厳しい時もあるが、達成

感を感じさせて、次の現場での意欲に繋げることが出来るようにしている。スポーツではないため、勝ち負けはないが、建設業は一人でできるものではない。協力することやコミュニケーションを重ねること。また、同期を長きライバルと思つて切磋琢磨していくといったことも必要になってくる。
渡嘉敷 指導法や相手を褒めて伸ばしていくことも重要だが、自分も力をつけるといけない。私のジムでは新しいレベルを作ったが、練習相手となる人は限られる。そのため、自分が自身でトレーニングを重ね、重いパンチを受け止めることが出来るようになること。多くの人は見るには自分自身で対応できる能力

を備えなくてはならない。昔の考えにもあったが、背中を見せたい。口だけとは思えないようにしたい。
山室 まさしくその通りで、自分自身も資格取得に向けた勉強は欠かさない。人生は一生勉強という考えもあるが、インプットがあれば若手がアウトプットすることが出来る。また現場や会社においてなるべく早く来て掃除をするように心がけて、指導している。率先してやることによって、社員もやる気になってくる。最初は「社長がやるから」という気持ちもあるが、徐々に自らやるようになってくる。現場をきれいにするには、安全にもつながり、安全第1は整理・整頓・清掃から。そういったことを理解してほしいので、率先して自分ができることが大切だ。

「それぞれ業界についての展望は」
山室 建設業もグローバルな考えが今後必要になってくると思う。人手不足の課題解決となる外国労働者とも一定のコミュニケーションが取れるよう語学力や国外文化の理解も必要であり、労働者側も言語の壁を低くするように働き掛けたい。また、今の若者に建設業のおもしろさを伝えていきたい。例えば、今スーパーネコンの大林組が構想している宇宙エレベーターなどのような世界的なもの建設に携わることが出来る。したら、一生誇りとなるもの。私自身も携わりたいと思つている。若者にはこんな夢があるよと、辛いかもしれないが生形に残る仕事であることを伝えていきたい。そのほか、現場の職人と監督の不足が今問題となっている。問題解決のため、早急に戦力になる職人や技術者、現場監督を育てる場を関係機関と調整をして、作っていきたくと将来的には考えている。
渡嘉敷 ボクシングは特別なスポーツで、スターが出てくる盛りの上がる。スターが出てくると注目され、やりたいと思う人が増えていき、他競技からも注目されてくる。しかし、チャンピオンにならないと注目されないという業界であるため、そこをなんとかしたい。例えば、ラウンド数の多さを長いと感じられてしまっている。ラウンド数を7ラウンドと短くして、グローブを小さくするなど、迫力がある試合にするには見方も変わるのではないかと。世界には世界ルールがあるのだから変えられないが、日本だけなら7ラウンドでも対応するとは可能となるはず。一般からの注目を今より大きくすれば、より人口は増えて業界は盛り上がると思う。業界のためにこれからの尽力していきたい。

渡嘉敷ボクシングジム
TOKASHIKI BOXING GYM

〒164-0013 東京都中野区弥生町2-15-18-2F
TEL 03-5358-7333
FAX 03-5358-7337

新防雷システムの設計・施工・管理なら

株式会社 サンエンジニアリング

〒306-0235 茨城県古河市下辺見975-2
TEL 0280-32-3110
FAX 0280-33-0544

それぞれの業界を
今後とも支えます

渡嘉敷ボクシングジム所属
水野光音選手(ウェルター級)
1戦1勝(1KO)
デビュー戦勝利時
(2023.12.8 後樂園ホール)